

2025 年 8 月 6 日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「総胆管結石に対する内視鏡的乳頭小切開＋バルーン拡張術(ESBD) vs 内視鏡的乳頭切開術(EST)の比較検討試験：傾向スコアマッチング分析」への協力をお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2017 年 1 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の間に、当科において総胆管結石に対して内視鏡治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

総胆管結石に対して乳頭小切開（EST）とバルーン拡張術(EPBD)を加える ESBD が新たな乳頭処置として注目されています。ESBD では EST 出血と穿孔のリスクを低減し、EPBD 単独に比べて膵管口への影響低減による膵炎発症抑制が期待されます。しかし、総胆管結石に対する ESBD と EST の治療成績を比較検討した報告は少なく十分な検証がなされていないのが現状です。我々は総胆管結石に対する ESBD と EST の治療成績について比較検討することを目的としました。

研究に用いる情報の項目：これらは全て日常診療で実施される項目です。

年齢・性別・胆管炎の有無と重症度、抗血栓薬の有無・総胆管結石数

総胆管結石最大径・胆管径・傍乳頭憩室の有無・胆嚢結石の有無

初回 ERCP での完全採石率、完全採石までに要した ERCP 回数、早期偶発症

晩期偶発症（総胆管結石再発・胆管炎/胆嚢炎などの胆道関連疾患）

研究に用いる情報の利用又は提供を開始する予定日：

2025 年 8 月 8 日

情報の取り扱い：

個人が特定されないように加工し研究代表機関に情報を集積し、研究利用する。なお、対照表の提供が行われることはありません。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合に

は研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
氏名：上村 真也

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
氏名：上村 真也

共同研究機関等：

岐阜市民病院 胆膵内科 岩田圭介
岐阜県総合医療センター 消化器内科医長 吉田健作
松波総合病院 胆膵内科副部長 奥野 充

情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

岐阜市民病院病院長 山田 誠
岐阜県総合医療センター病院長 桑原尚志
松波総合病院病院長 松波和寿

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
電話番号：058-230-6308
氏名：丸田 明範

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp